

学校での福祉体験

沖縄県福祉教育研究会・浦添市社会福祉協議会、浦添市ボランティア連絡協議会・福祉体験サポーター(地域のボランティア)が学校へうかがい、車イス・アイマスクを利用して肢体不自由者・視覚障がい者の障がい疑似体験をとおして、障がいを持つ方々の気持ちを理解し、「自分たちに何ができるか」を考えるプログラムを実施しています。

また、福祉教育に必要な講話者の紹介や地域等とのコーディネートも行っています。



▲アイマスクを利用した、視覚障がい者体験



▲障がい当事者による福祉講話

点字体験 ▶



▲地域の高齢者との交流



▲昨年の報告会の様子
第4民児協がモデルとして取り組んだ、「災害時要援護者避難支援計画」についての発表がなされました。

自治会などが実施するふれあいサロン、市内の福祉教育推進校、ボランティア団体または個人など、それぞれの活動実践報告をとおして、地域住民の福祉への理解と関心を高めることを目的に開催されています。

福祉教育・ボランティア活動 実践報告